

「あれ？」患者さんがいない・・・？！？！

患者所在不明・無断離院に関する対応手順①

患者さんの安全を最優先に、迅速且つ組織的に対応する。

【第一発見者】まずは報告



患者さんの不在に気付いて、少しでも不安を感じたら、速やかにリーダー看護師および病棟責任者に報告する

【看護師/病棟】直ちに搜索と情報収集を開始



報告を受けた看護師は、直ちに病棟内およびその周辺の搜索を開始する。



同時に、以下の情報を収集・整理する



病棟・氏名



年生・性別



身体的特徴：歩行、移動手段など

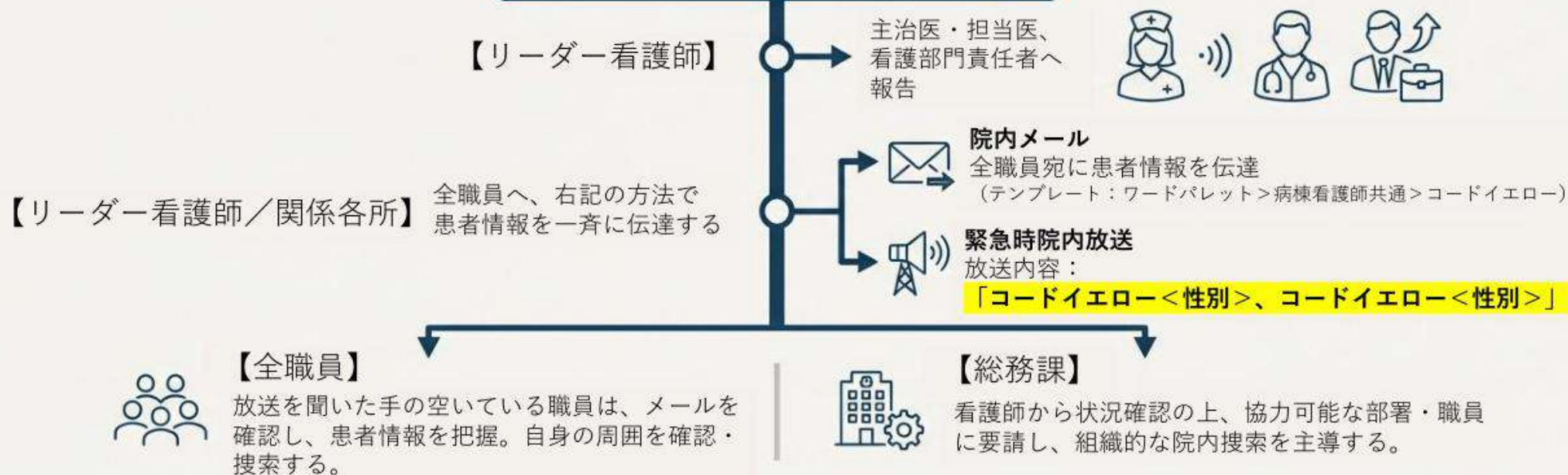
あなたの的確な「報告」と「初動」が、その後の全ての対応の質とスピードを決定づけます。

病棟から病院全体へ チームで動く全館搜索体制

患者所在不明・無断離院に関する対応手順②

 病院内・周辺の搜索で発見できない場合、直ちに全館体制へ移行する。

院内への情報共有と全館搜索依頼



- 【夜間対応】**
- ・ 報告先：リーダー看護師は、事務当直者、警備員、当直医へ報告。
 - ・ 搜索主導：事務当直者が協力可能な部署・職員に協力を要請し、搜索を主導する。

院外の可能性 家族への連絡と警察への要請

患者所在不明・無断離院に関する対応手順③

【総務課】



確実な事実確認

依頼を受け、速やかに監視カメラの映像を確認。
患者が院外へ出たかどうかを確認し、病棟責任者へ結果を報告する。

【病棟責任者または主治医】



ご家族への連絡 冷静に丁寧に

- ・ 無断離院の状況を冷静に説明する。
- ・ 自宅や立ち寄りそうな場所に心当たりがないか確認する。
- ・ 万が一、患者が帰宅・連絡してきた際は、速やかに病院へ連絡いただくよう依頼する。

【三役or責任当直医師の指示で】 **警察への通報 天候や生命の危険性など加味して判断**

いつ警察通報する？

- ✓ 捜索から1時間以上経過しても発見できない場合
- ✓ 患者の病状や外部環境（天候など）から生命・身体への危険性が高いと判断される場合

警察要請のための指示系統

- ① 主治医と家族が協議
- ② 三役（責任当直医師）が指示
- ③ 指示に基づき、家族の許可を得た上で、総務課を通じて管轄の警察署へ捜索を依頼する

何を伝えたらいい？

- ✓ 患者情報：氏名、性別、年齢、住所、連絡先
- ✓ 身体的特徴：身長、容貌、服装、履物、髪型、眼鏡の有無
- ✓ 状況：最終確認日時、病名、現在の状態、精神状態、所持品、リストバンドの有無

「見つかった」で終わらせない 報告・分析・再発防止

患者所在不明・無断離院に関する対応手順④

発見・帰院後の対応



情報共有の完了

発見者は直ちに病棟責任者へ連絡。
コードイエローの解除放送。
捜索に協力した全部署、家族、警察
への無事保護を報告。



状態確認とケア

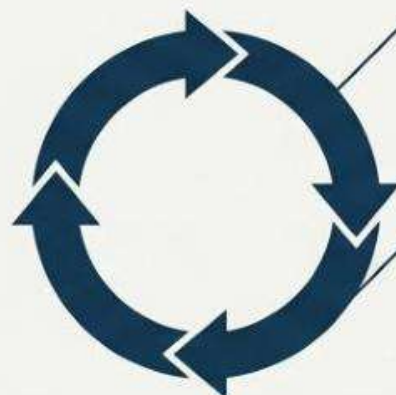
バイタルサイン、外傷の有無、精神
状態、血糖値など全身状態を確認。
主治医の指示に従い、必要な医療的
処置やケアを実施



経過記録

覚知から発見、帰院後の対応までの
一連の経過を、診療録および看護記
録に詳細に記録する。

再発防止と予防的対応



インシデント報告と分析

本件は医療安全管理上のインシデント。対応職員は速やかにインシデントレポートを作成し、医療安全管理室へ提出。関係部署は原因を分析し、具体的な再発防止策（情報共有のあり方、環境整備、患者への関わり方など）を検討・立案する。

予防的情報共有

対象：離院リスクが高い、または離院を繰り返す患者
目的：院内全体で見守り態勢を強化し、無断離院を未然に防止する。
対応：入院時、担当病棟は速やかに患者情報（氏名、年齢、性別、特徴）を院内メールで全職員に共有。
対象の患者が退院、または情報共有が不要になったら、院内メールでその旨を全職員に共有。

ひとつのインシデントを組織全体の教訓とし、患者・職員・組織にとって安心で安全な環境を目指しましょう。